

事業計画事例～理美容業編

事業計画事例では、開業レポート2012のアンケート調査やインタビュー取材でヒアリングした数字をもとに、起業して成功している会社のリアルな事業計画をサンプルとして作成しました。これから起業・独立する方は是非ご参考ください。

1. 開業資金と開業費用

まずは開業資金と開業費用です。理美容業の特性として、開業時に大きな資金が必要なことがあげられます。サンプルでは自己資金600万円、借入1800万円、計2400万円の開業資金を用意しています。

開業費用の内訳は、店舗契約費用に15万円、前家賃で15万円、保証金が家賃3カ月分として45万円。更に店舗の工事費として400万円を計上しています。また、空調設備などで90万円、イスやシャンプー台などの設備は必須なので150万円、細かい経費も加えて、しめて680万円となっています。この業種では個人事業ではじめるケースが多いので会社設立費用などはかからないものの、かなりの金額が開業時にかかることがわかります。

開業資金	2,400万円
内訳	600万円 (自己資金)
	1,800万円 (借入)
	万円 (その他)

開業費用	680万円
店舗賃貸契約費	15万円
店舗保証金	45万円
店舗前家賃	15万円
事務所・店舗費用(工事費など)	400万円
厨房機器・空調機器など	20万円
店舗用品など	150万円
オフィス用品など	10万円
OA関連機器など	10万円
文具・事務用品など	5万円
その他(初期仕入れ費用)	10万円
会社設立費用・開業諸経費	万円

2. 売上、経費、利益

	初年度	2年目	3年目	
売上(年間)	2,000万円/年	4,000万円/年	6,000万円/年	
経費 (1カ月単位)	原価	180万円/年 (15万円/月)	360万円/年 (30万円/月)	540万円/年 (45万円/月)
	人件費	600万円/年 (50万円/月)	1,200万円/年 (100万円/月)	1,800万円/年 (150万円/月)
	役員報酬	300万円/年 (25万円/月)	600万円/年 (50万円/月)	900万円/年 (75万円/月)
	家賃等	180万円/年 (15万円/月)	360万円/年 (30万円/月)	540万円/年 (45万円/月)
	水道・光熱費	120万円/年 (10万円/月)	240万円/年 (20万円/月)	360万円/年 (30万円/月)
	広告宣伝・販促費	60万円/年 (5万円/月)	120万円/年 (10万円/月)	180万円/年 (15万円/月)
	その他営業諸経費	144万円/年 (12万円/月)	288万円/年 (24万円/月)	432万円/年 (36万円/月)
	借入金の返済	180万円/年 (15万円/月)	360万円/年 (30万円/月)	540万円/年 (45万円/月)
利益	236万円/年	472万円/年	708万円/年	

次の売上、経費、利益を見てみましょう。

売上は1年目で2000万円、2年目で4000万、3年目で6000万円という試算で、これは一年ごとに店舗を増やして行ったケースを想定しています。

1年目の経費と利益ですが、店舗家賃が年180万/月15万円、光熱費も年120万/月10万円と固定費の負担が重いです。また、スタッフも資格を持つプロが必要なため、年720万/月60万とかなりの出費になります。役員報酬を年300万/月25万を計上していますが、事業が軌道にのるまでは、社長の給与はとれないと思っていたほうが無難です。こうして計画していくと、年間経費は1764万円ほどになりますが、計画通りに売上がたてば、利益はそれなりに残ります。

なお、借入金の返済で毎月15万円を計上していますが、これは運転資金を余分に借り入れたため、もし売上が安定してくれば不要な資金ですので、繰り上げ返済して毎月の返済額を圧縮しましょう。そうすると、残る利益はより大きくなります。

そうして軌道にのったら、2店舗、3店舗と増やしていき売上も倍々となるので、役員報酬も十分取れるよわうになります。店舗型ビジネスではいかに早く固定客を確保して、毎月の売上を安定化させることが大事です。この計画では、安全率が7.11とかなり余裕のある数字になっています。